

幸せ実感くまもと  
**4力年戦略**

進捗レポート  
2013

平成25年12月  
熊本県





熊本県では、県の取組みの基本方針である「幸せ実感くまもと4力年戦略」を平成24年6月に策定し、「県民一人ひとりが幸せを実感し、住み慣れた地域で夢を持ち誇りに満ちた暮らしが送れる熊本」の実現に向けて、全力で取り組んでいます。

このレポートは、戦略の進捗状況（主な成果や動き等）をお伝えするために作成しました。市町村や県民の皆様とともに、日本で一番幸せを実感できるくまもとの実現をめざしていきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

熊本県知事 蒲島郁夫

## 幸せ実感くまもと4力年戦略とは

- ・ 県の取組みの基本方針（戦略の期間：平成24～27年度）です。
- ・ 前戦略（「くまもとの夢4力年戦略（平成20～23年度）」）における「**県民幸福量の最大化**」の考え方を継承しながら、さらに「**県民が幸せを実感できる**」よう、4年間で重点的に推進する主な施策を明らかにしたものです。

## 特徴

- ・ 4つの「めざす姿」を掲げ、その実現に向けた4つの「取組みの方向性」と「15の戦略」で構成しています。
- ・ 「15の戦略」の進捗状況を分かりやすく示していくための指標（延べ77の戦略指標）と目標値を設定しています。

●詳しくはホームページをご覧ください。

幸せ実感くまもと

検索

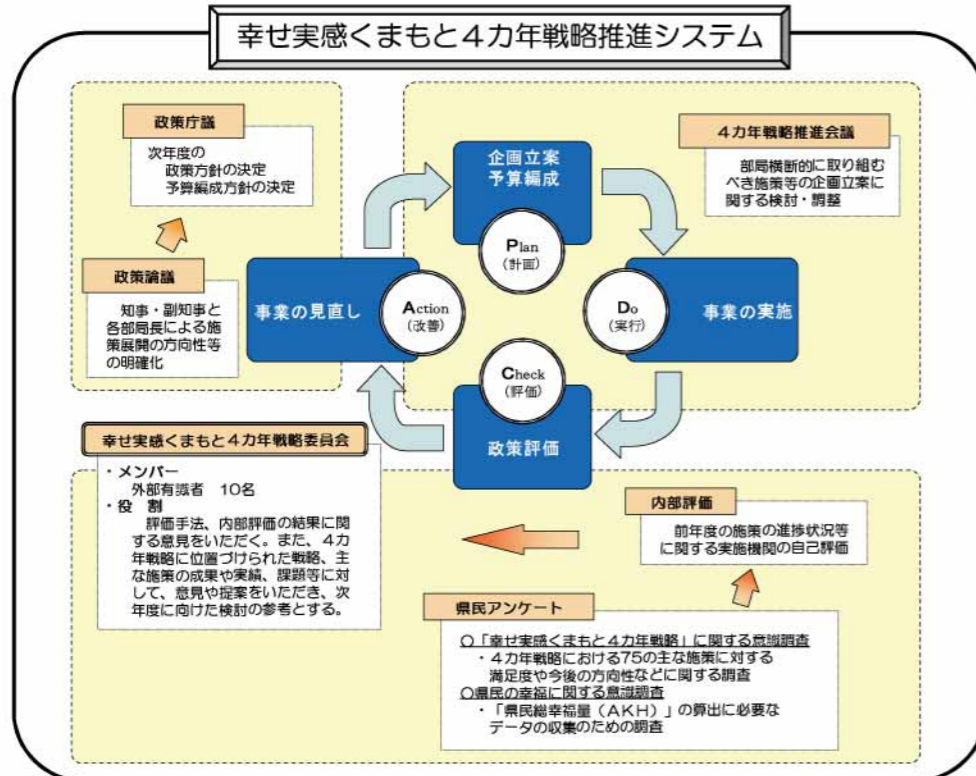
## 戦略の着実な推進に向けて

### (1) 戦略推進に向けた施策・事業の展開

- ・ 戦略として掲げた施策・事業の速やかな具体化のため、「幸せ実感推進枠」として4年間で総額約200億円（一般財源ベース）を確保しています。

### (2) 政策評価と進行管理

- ・ 政策評価を活用した「幸せ実感くまもと4力年戦略推進システム」（下図）による成果重視の県政運営を進めています。
- ・ 「幸せを実感できるくまもと」の推進状況をより分かりやすく評価していくために、「幸福量」を指標化し、更なる施策の充実、展開を進めています。
- ・ 戦略の推進状況や県の取組みに対する意見や提案をいただく場として、「幸せ実感くまもと4力年戦略委員会」を設置しています。



## 幸せ実感くまもと4力年戦略（構成）

### “活力を創る”

- 【戦略1】ビッグチャンスを生かす  
～ 県経済の力強い成長をリードします ～
- 【戦略2】稼げる農林水産業への挑戦  
～ 農林水産業を再生します ～
- 【戦略3】地域力を高める  
～ 政令指定都市以外の地域振興を重点的に進めます ～
- 【戦略4】未来型エネルギーのトップランナー  
～ 新エネ・省エネの先進県をめざします ～

### “アジアとつながる”

- 【戦略5】アクション・アジア  
～ 成長するアジアの市場に打って出ます ～

### “安心を実現する”

- 【戦略6】長寿を楽しむ  
～ 長寿を恐れない社会から長寿を楽しむ社会へ ～
- 【戦略7】子どもの育ちと若者のチャレンジを応援  
～ 熊本の未来の元気をつくります ～
- 【戦略8】障がいのある人が暮らしやすい熊本  
～ ともに支え、ともに担う社会をつくります ～
- 【戦略9】人が人として互いに尊重される安全安心な熊本  
～ 一人ひとりを大切に、一人ひとりが大切にされる、安全安心な社会を実現します ～
- 【戦略10】災害に負けない熊本  
～ 熊本の防災力を高めます ～

### “百年の礎を築く”

- 【戦略11】熊本都市圏の拠点性向上  
～ 将来の州都をめざします ～
- 【戦略12】悠久の宝の継承  
～ 熊本の宝を磨き上げ、引き継いでいきます ～
- 【戦略13】環境を豊かに  
～ 環境意識と行動を高めていきます ～
- 【戦略14】熊本アカデミズム  
～ 「知」の集積を「地」の活力につなげます ～
- 【戦略15】夢を叶える教育  
～ 次代を担う人材を育てます ～

### 川辺川ダム問題・水俣病問題・行財政改革

### 【めざす姿】

活力溢れる元気な  
くまもと

アジアの中で  
存在感のある  
くまもと

いつまでも楽しく、  
元気で、安心して  
暮らせるくまもと

誇りを持ち、  
夢の実現に挑戦する  
くまもと

県民幸福量の最大化

「県民一人ひとりが幸せを実感し、住み慣れた地域で夢を持ち誇りに満ちた暮らしが送れる熊本」  
**幸せを実感できるくまもと**





# “活力を創る”

## 平成24年度の主な成果

### 戦略1

#### ビッグチャンスを生かす ～県経済の力強い成長をリードします～



研究開発部門と生産部門が併設したソニーセミコンダクタ株式会社熊本TEC

○創造的企業誘致※の推進により、6件の研究開発部門を含む30件の立地件数を達成。  
(※拠点性の向上につながる研究開発部門を中心とした企業誘致)

○リーディング企業※が3社に増加。  
(※1年間の事業活動で産み出す付加価値額が10億円以上の企業)



くまもと県南フードバレー構想 (イメージ)

○「食」関連産業の振興を通じた県南地域の活性化をめざす「くまもと県南フードバレー構想」を策定。



「期待を超えるぞ! くまもっと県。」キャンペーン (大阪での店頭キャンペーン)

○24年7月に「ようこそくまもと観光立県推進計画」を策定。熊本を起点とした九州の周遊ルート開発や、阿蘇を中心としたキャンペーン等を展開。



全国CMに初出演するくまモン

○くまモンはツイッターのフォロワー数が19万人を超え、全国的な認知度と人気を獲得。

戦略指標	戦略策定時 (年度)	評価時 (H25年度)	指標の動向	達成度	目標値 (H27年度)
【戦略1】リーディング企業育成数	1社 (H23)	3社	➡	15.0%	20~30社
企業立地件数	91件/4年 (H20~H23)	30件	➡	30.0%	100件/4年 (H24~H27)
企業立地による新規雇用予定者数	5,299人/4年 (H20~H23)	1,213人	➡	22.1%	5,500人/4年 (H24~H27)
【補】新たな材料(有機薄膜、熊大Mg等)を活用した商品の市場化件数	0件 (H23)	2件	➡	20.0%	10件
観光客総数	5,723万人/年 (H22)	5,920万人/年	➡	98.7%	6,000万人/年
延べ宿泊者数	647万人/年 (H22)	663万人/年	➡	88.4%	750万人/年
【補】くまモンツイッターフォロワー数	5万人 (H23)	19万人	➡	126.7%	15万人 <b>達成</b>

\*「補足的な指標」を【補】と表示しています。

### 戦略2

#### 稼げる農林水産業への挑戦

～農林水産業を再生します～



「くまもと農業アカデミー」での農産加工

○意欲ある農業者等を対象とした「くまもと農業アカデミー」を設立。担い手育成が進展。



木質バイオマス加温機と木質ペレット

○木質バイオマス燃料の生産・供給を開始。モデル地域に60台の加温機を実証導入。

○農地集積面積が前年より3割増の1,780haとなり、集積進む。

○農業への新規参入が21件。

○24年産米の食味ランキングで県産米「森のくまさん」が日本一に輝く。

戦略指標	戦略策定時 (年度)	評価時 (H25年度)	指標の動向	達成度	目標値 (H27年度)
認定農業者や地域営農組織等へ集積する農地面積	—	1,780ha	➡	21.2%	8,400ha/4年 (H24~H27)
新規就業者数(新規就農者+雇用就農者)+新規林業就業者+新規漁業就業者	414人/年 (H22)	561人	➡	106.7%	526人/年 <b>達成</b>
【補】モデル産地でのPQCの効果(水稻のコスト(水稻経営費)削減)	86,194円/10a (H22)	85,727円/10a	➡	<-467>	68,000円/10a
木質バイオマス加温機の導入台数	4台 (H23)	64台	➡	37.6%	170台
農業への参入法人数	50法人 (H22)	71法人	➡	71.0%	100法人
林建連携数(林建連携協定締結数)	35社 (H22)	40社	➡	66.7%	60社
くまもとグリーン農業に取り組む農業者	2,844戸 (H23)	6,876戸	➡	29.9%	23,000戸
県産農林水産物の認知度* <※「くまもとの赤」の認知度>	—	16.5%	➡	47.1%	35%

\*「県産農林水産物の認知度」は戦略策定時との比較ができないため、「指標の動向」を暫定的に ➡ で表現しています。

### 戦略3

#### 地域力を高める

～政令指定都市以外の地域振興を重点的に進めます～



クルーズ船入港時に開催された3市連携(八代・人吉・水俣)による広域物産展(八代港)



宮原五木線・頭地大橋開通式

○五木村では、年間観光客総数15万人を達成。宮原五木線の頭地大橋を含む区間を供用開始し、住民の利便性が向上。

○各地域でのおもてなしの機運醸成のため、13件の取組みに助成。

○八代港の水深1.4m岸壁第1バース及び泊地整備が完成。

○「水俣・芦北地域雇用創造協議会」を中心とした取組みで、同地域で148人の新たな雇用を創出。

戦略指標	戦略策定時 (年度)	評価時 (H25年度)	指標の動向	達成度	目標値 (H27年度)
県内の主要な都市農村交流促進施設の年間来訪者数	531万人/年 (H22)	567万人	➡	96.1%	590万人/年
新幹線利用者数(新幹線4駅の乗降客数)	637万人/年 (推計値)	657万人	➡	98.1%	670万人/年
【補】ロアソフ熊本ホームゲーム1試合平均入場者数	6,928人 (H23)	5,855人	➡	84.5%	前年度の平均入場者数を上回る
【補】地域づくりチャレンジ推進事業(4分野)の実施件数	74件/年 (H23)	52件	➡	65.0%	80~100件/年



戦略  
4

## 未来型エネルギーのトップランナー

～新エネ・省エネの先進県をめざします～



メガソーラー発電所（南関町）



小水力発電所（湯前町）

○住宅向け76件、中小企業等向け16件にスマートメーター※やLED照明などの導入を補助。  
（※消費電力の見える化装置）

○ストップ温暖化県民総ぐるみ運動推進会議の会員数が345へ増加。

○23件のメガソーラーの立地が決定。発電出力は82メガワット。

○湯前町に幸野溝発電所を設置。

戦略指標	戦略策定時 (年度)	評価時 (H25年度)	指標の 動向	達成度	目標値 (H27年度)
県内への新エネルギー導入量(原油換算)	32万kL/年 (H22)	37万kL/年	➡	92.5%	40万kL/年
【補】木質バイオマス加温機の導入台数 <再掲>	4台 (H23)	64台	➡	37.6%	170台
【補】メガソーラーの設置数	2件 (H23)	23件	➡	230.0%	10件 <b>達成</b>
【補】住宅用太陽光発電設備の設置率	5.63%・全国2位 (H22)	8.88%・全国2位	➡	...	全国1位
県のエネルギー消費量(将来推計値)からの削減量(原油換算)	—	13万kL/年 (暫定値)	➡	72.2%	18万kL/年
【補】熊本県ストップ温暖化県民総ぐるみ運動推進会議の会員(団体)数	304会員 (H23)	345会員	➡	57.5%	600会員

## 平成25年度の動き



くまもと県南フードバレー推進協議会・設立記念大会



全国豊かな海づくり大会  
(水俣湾に稚魚を御放流なさる両陛下)



フランス・パリ開催の「ジャパンエキスポ」ステージ



くまもと臨空メガソーラー（菊陽町）

## “アジアとつながる”

### 平成24年度の主な成果

戦略  
5

## アクション・アジア

～成長するアジアの市場に打って出ます～



広西壮族自治区と経済交流促進覚書を締結



熊本港のガントリークレーン

○中国・広西壮族自治区の南寧市に熊本広西館を設置。

○台湾にビジネスアドバイザーを新たに設置。台湾とのチャーター38便を実現。

○シンガポール、香港のビジネスアドバイザーや輸出促進アドバイザーの支援などを通じ、アジア地域への輸出及び進出を行っている県内企業等が着実に増加。

○熊本港、八代港のコンテナ取扱数量が前年比で16%増加し、物流が促進。熊本港のガントリークレーンの供用開始や週2便体制の実現などが寄与。

○東日本大震災の影響等により23年に大きく減少していた外国人宿泊者数が、24年は対前年比31.9%増となる30万人に回復。

戦略指標	戦略策定時 (年度)	評価時 (H25年度)	指標の 動向	達成度	目標値 (H27年度)
アジア地域への輸出及び進出を行っている県内企業・農業団体等の数(中国)	延べ57 (H23)	66	➡	76.7%	延べ86
アジア地域への輸出及び進出を行っている県内企業・農業団体等の数(アセアン)	延べ27 (H23)	33	➡	82.5%	延べ40
アジア地域への輸出及び進出を行っている県内企業・農業団体等の数(台湾)	延べ16 (H23)	21	➡	91.3%	延べ23
延べ外国人宿泊者数	33万人/年 (H22)	30万人	➡	50.0%	60万人/年
うちアジアからの延べ外国人宿泊者数	30万人/年 (H22)	28万人	➡	50.9%	55万人/年
留学生の数	575人/年 (H23)	655人	➡	65.5%	1,000人以上/年

## 平成25年度の動き



台湾での知事トップセールス  
(「熊本県、熊本市、高雄市 国際交流促進覚書」の締結)



クルーズ客船の熊本港初寄港



# “安心を実現する”

## 平成24年度の主な成果

### 戦略6 長寿を楽しむ ～長寿を恐れない社会から長寿を楽しむ社会へ～



地域の子供達と一緒にそうきん作り  
(地域の縁がわ)



認知症サポーター活動の活性化  
(声掛け・通報模擬訓練)

○地域の縁がわ\*が380カ所に増加。  
(※子どもや高齢者、障がい者など、地域の誰もが気軽に集い、支え合う地域の拠点)

○認知症サポーターが16万5千人を超え、人口比で4年連続日本一。  
サポーターの活動が活性化している市町村数が27団体に増加。

戦略指標	戦略策定時(年度)	評価時(H25年度)	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
地域の縁がわ箇所数	276か所(H23)	380か所	➡	76.0%	500か所
シルバーインストラクター登録人数	—	38人	➡	31.7%	120人
認知症サポーター活動が活性化している市町村数	12市町村(H23)	27市町村	➡	60.0%	45市町村
訪問看護ステーションがある市町村数	31市町村(H23)	31市町村	➡	68.9%	45市町村
【補】県内の自治体病院における常勤医師数	316人(H23)	318人	➡	94.6%	336人

【戦略6】長寿を楽しむ

### 戦略7 子どもの育ちと若者のチャレンジを応援 ～熊本の未来の元気をつくります～



家庭的保育



ジョブカフェくまもとの就職相談

○放課後児童クラブ実施が40市町村・329カ所に増加。

○病児・病後児保育の実施が25市町村・25カ所に増加。

○ジョブカフェ\*利用者の就職決定数が1,912人に増加。  
(※おおむね35歳未満の方の就労促進を図るためのワンストップサービスセンター)

戦略指標	戦略策定時(年度)	評価時(H25年度)	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
放課後児童クラブの実施市町村数	39市町村(H23)	40市町村	➡	97.6%	41～45市町村
保育所入所待機児童数	194人(H23)	582人	➡	<+388>	0人
住民が病児・病後児保育のサービスを利用できる市町村	20市町村(H23)	25市町村	➡	55.6%	45市町村
【補】くまもと子育て応援の店・企業登録数	2,442件(H23)	2,708件	➡	84.6%	3,200件
就職支援を希望する高卒未就職者の就職決定率	97.4%(H23)	100%	➡	100.0%	100% <b>達成</b>
ジョブカフェ利用者における就職決定数	1,782人/年(H23)	1,912人	➡	91.0%	2,100人/年
【補】若者サポートステーション進路決定者数	291人/年(H23)	434人	➡	108.5%	400人/年 <b>達成</b>

【戦略7】子どもの育ちと若者のチャレンジを応援

### 戦略8 障がいのある人が暮らしやすい熊本 ～ともに支え、ともに担う社会をつくります～



障がい者福祉施設商品展示・商談会



グループホーム等の創設・改修  
(グループホームでの食事風景)

○創設・改修、一般住宅等の借上げへの補助により、グループホーム等の定員が126人分増加。

○1歳6カ月児健診、3歳児健診で発達障がい気づくための問診票及びアドバイスのマニュアルを作成。

○ハローワークを通じた障がい者就職件数が1,558件に増加。

戦略指標	戦略策定時(年度)	評価時(H25年度)	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
障がい者の日中活動系サービスの利用量(定員数)	8,709人/日(H23)	9,785人/日	➡	103.0%	9,500人/日 <b>達成</b>
発達障がいを早期発見するための問診票を用いた健診の実施市町村数	9市町村(H23)	45市町村	➡	100.0%	45市町村 <b>達成</b>
障がい者の就職件数	1,265人/年(H23)	1,558人	➡	97.4%	1,600人/年

【戦略8】障がいのある人が暮らしやすい熊本

### 戦略9 人が人として互いに尊重される安全安心な熊本 ～一人ひとりを大切に、一人ひとりが大切にされる、安全安心な社会を実現します～



犯罪被害者遺族による「命の大切さを学ぶ教室」



繁華街クリーンアップ大作戦一斉パレード

○中学校・高校での「命の大切さを学ぶ教室」の開催やゲートキーパーの養成等、自殺対策が進展。

○刑法犯認知件数が13,104件(前年比▲941件、▲6.7ポイント)と9年連続で減少。

戦略指標	戦略策定時(年度)	評価時(H25年度)	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
民間企業における管理職(係長以上)に占める女性の割合	23.4%(H23)	24.6%	➡	94.6%	26.0%
【補】自殺予防ゲートキーパー養成者数	240人(H23)	422人	➡	50.2%	840人
【補】県の審議会等における女性委員の登用率	37.2%(H23)	37.1%	➡	92.8%	40%
【補】育児参加に係る休暇を取得した男性職員の割合	76.7%(H22)	83.5%	➡	83.5%	100%
街頭犯罪を中心とした14罪種の認知件数	10,423件/年(H20～H23平均)	8,400件	➡	<-2,023>	過去4年間の平均認知件数を下回る <b>達成</b>
24時間交通事故死者数	86人(H23)	82人	➡	<-4>	56人以下
交通事故死傷者数	13,524人(H23)	12,555人	➡	<-969>	11,000人以下
消費生活相談ネットワーク体制整備市町村数	10市町村(H23)	23市町村	➡	51.1%	45市町村

【戦略9】人が人として互いに尊重される安全安心な熊本



戦略 10 災害に負けない熊本  
～熊本の防災力を高めます～



自主防災組織設立のための研修会

○自主防災組織率の前年度比伸び率が全国平均を上回って上昇。



「災害派遣福祉チーム（熊本DCAT）の派遣に関する協定締結式」

○災害派遣福祉チーム「熊本DCAT」を創設し、高齢者・障がい者支援7団体と協定締結。

○防災情報メールサービスのシステム改修等により、県民への迅速・正確な情報提供体制を整備。

○熊本広域大水害を受け、災害関連緊急治山・砂防事業の着手や白川水系での概ね5年間の緊急的な河川改修の実施が決定。

戦略指標	戦略策定時(年度)	評価時(H25年度)	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
自主防災組織率	55.2% (H23)	61.6%	➡	77.0%	80%
県立学校の耐震化率	83.1% (H23)	93.1%	➡	93.1%	100%
市町村立小中学校施設の耐震化率	82.8% (H23)	94.4%	➡	94.4%	100%
私立学校施設の耐震化率	58.9% (H23)	62.5%	➡	83.3%	75%
【補】県防災情報メールサービスの登録件数	21,355人 (H23)	25,033人	➡	62.6%	40,000人

平成25年度の動き



南部発達障がい者支援センター「わるつ」を八代市に開設



災害に備え訓練に臨む「熊本DMAT」（災害派遣医療チーム）



（白川）



熊本広域大水害からの復旧状況

（矢護川）

“百年の礎を築く”

平成24年度の主な成果

戦略 11 熊本都市圏の拠点性向上  
～将来の州都をめざします～



九州中央自動車道・嘉島JCT（仮称）

○九州中央自動車道、南九州西回り自動車道、国道57号4車線化、熊本天草幹線道路の事業等を推進。



空港ライナー

○空港ライナーの本格運行への実証実験、崇城大学との包括連携協定締結、空港周辺及び第2空港線沿線の景観向上等、「大空港構想」を推進。

○「くまもと未来会議」の意見等に基づいて州都構想を策定。

戦略指標	戦略策定時(年度)	評価時(H25年度)	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
熊本市・熊本市の政策連携協定数(熊本県・熊本市政策連携会議で承認された取組み数)	—	5項目	➡	<+5>	毎年度着実に増加を図る
阿蘇くまもと空港の利用者数	279万人/年 (H23)	285万人	➡	95.0%	300万人/年
熊本駅の乗降客数	893万人/年 (推計値)	920万人	➡	100.0%	920万人/年 <b>達成</b>
幹線道路の整備進捗率(供用率)	41.5% (H23)	41.5%	➡	83.0%	50.0%

戦略 12 悠久の宝の継承  
～熊本の宝を磨き上げ、引き継いでいきます～

○「天草の崎津集落」が世界文化遺産登録をめざす「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の構成資産に追加。「九州・山口の近代化産業遺産群」及び「阿蘇」も、国文化財指定の追加や管理保全計画の策定等が進展。

○「くまもと暦町50選」として60地区を選定。

○改正県地下水保全条例の全面施行で地下水採取の許可制開始。



保全・活用が進む歴史文化遺産（崎津天主堂・鞠智城）

戦略指標	戦略策定時(年度)	評価時(H25年度)	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
文化施設の利用者数	94.8万人/年 (H23)	102.9万人	➡	102.9%	100万人/年 <b>達成</b>
世界文化遺産登録に関連する資産の国指定(選定)件数	5か所 (H23)	11か所	➡	78.6%	14か所
【補】松橋収蔵庫フィールドミュージアム事業における参加者数	1万人/年 (H23)	1.6万人	➡	80.0%	2万人/年
【補】細川コレクション 永青文庫展示関係の入場者数	3万人/年 (H23)	4.3万人	➡	107.5%	4万人/年 <b>達成</b>
熊本地域の地下水涵養増加量(白川中流域水田湛水事業等による涵養量)	2,065万m <sup>3</sup> (H23)	1,675万m <sup>3</sup>	➡	46.5%	3,600万m <sup>3</sup>
【補】景観行政を行う市町村数	7市町村 (H23)	7市町村	➡	43.8%	16市町村
【補】野焼き・輪地切りボランティア参加者数	2,137人/年 (H22)	2,103人	➡	67.0%	3,137人/年



戦略 13

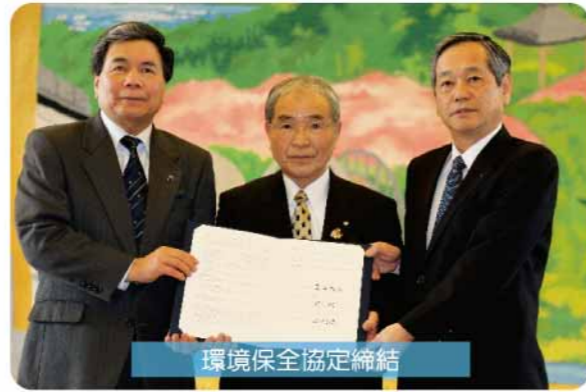
環境を豊かに

～環境意識と行動を高めていきます～



水銀条約外交会議熊本県推進協議会

○条約名を「水銀に関する水俣条約」とすること及び条約の採択・署名の外交会議が平成25年10月に熊本市・水俣市で開催されることが決定。



環境保全協定締結

○県及び財団法人熊本県環境整備事業団が、南関町、和木町とそれぞれ、公共関与最終処分場の建設及び運営に関する環境保全協定を締結。

戦略指標	戦略策定時(年度)	評価時(H25年度)	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
有明海・八代海の水質基準の達成度(COD)	72.2% (H22)	72.2%	→	72.2%	100%
有明海・八代海の水質基準の達成度(全窒素・全リン)	83.3% (H22)	83.3%	→	83.3%	100%
一般廃棄物排出量	57万9千トン/年 (H21)	55万7千トン/年	→	<-22,000>	57万2千トン以下/年 <b>達成</b>
【補】熊本県ストップ温暖化県民総ぐるみ運動推進協議会の会員(団体)数<再掲>	304会員 (H23)	345会員	→	57.5%	600会員
【補】環境センターの来館者数及び出前講座の受講者数	157,372人/4年 (H20~H23)	38,966人	→	23.8%	164,000人/4年 (H24~H27)

戦略 14

熊本アカデミズム

～「知」の集積を「地」の活力につなげます～



くまもと未来会議

○知の結集のシンボルとして、五百旗頭真氏を熊本県立大学理事長に招へい。「くまもと未来会議」に新たな委員が参画。



○世界への飛躍を志す県内企業や芸術家、学生などを支援する官民出資によるファンド(熊本県世界チャレンジ支援基金)を創設。

○ターゲット企業の絞り込み、重点的なアプローチ等により、研究開発部門6件の企業立地を達成。

○県学力調査の結果、英語が「好き」「分かる」と回答した生徒の割合がともに増加し、年度目標を達成。

戦略指標	戦略策定時(年度)	評価時(H25年度)	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
【戦略14】熊本アカデミズム 研究開発部門の企業立地件数	9件/4年 (H20~H23)	6件	→	60.0%	10件/4年 (H24~H27)
海外高校への留学者数	10人/年 (H23)	19人	→	19.0%	100人/4年
英語の学習が「好き」と回答した生徒(中1~中3)の割合	46.9% (H23)	48.4%	→	<+1.5>	毎年度、前年度の割合を上回る <b>達成</b>
英語の学習が「分かる」と回答した生徒(中1~中3)の割合	46.4% (H23)	47.5%	→	<+1.1>	
留学生の数<再掲>	575人/年 (H23)	655人	→	65.5%	1,000人以上/年

戦略 15

夢を叶える教育

～次代を担う人材を育てます～



「くまもと『親の学び』プログラム」講座をくまもも受講中

○870カ所で「親の学び」講座が開催され、34,857人が参加。



インターンシップでの金型についての指導

○全県立高校でインターンシップを実施。体験生徒数：7,279人、事業所数：2,691事業所、体験率：59.5%を達成。

○「くまもと家庭教育支援条例」の制定により、家庭教育の重要性への理解が向上。

○海外高校留学者数が県立高校11人、私立高校8人の計19人に増加。

戦略指標	戦略策定時(年度)	評価時(H25年度)	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
【戦略15】夢を叶える教育 教科の学習が「好き」と回答した児童(小3)の割合	77.8% (H23)	76.0%	→	<-1.8>	毎年度、前年度の割合を上回る
教科の学習が「分かる」と回答した児童(小3)の割合	83.4% (H23)	82.4%	→	<-1.0>	
【補】「親の学び」講座実施率	50.3% (H23)	62.0%	→	88.6%	70%
海外高校への留学者数<再掲>	10人/年 (H23)	19人	→	19.0%	100人/4年
ものづくりチャレンジ事業・高校生の就業支援等プロジェクトの受講児童・生徒数	1,432人/年 (H23)	1,342人	→	78.9%	1,700人/年

平成25年度の動き



万田坑、三角西港を含む「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産推薦が決定



水銀に関する水俣条約外交会議



熊本天草幹線道路(大矢野バイパス(登立トンネル))



「阿蘇の草原の維持と持続的農業」が世界農業遺産に認定



熊本が誇る里の美しさを、県民みんなで育て、発信していく「くまもと里モンプロジェクト」スタート



# データで見る戦略の推進状況について

データ I

## 戦略指標の動向（まとめ）

～延べ77の戦略指標の戦略策定時と評価時の比較～

全体では62指標が上向き、6指標が横ばい、9指標が下向きとなりました。また、うち13指標が最終年度（平成27年度）の目標値を達成しました。

取組みの方向性	指標数	上向き 👉	横ばい ➡	下向き 👎	目標値達成
全体	77	62 (80%)	6 (8%)	9 (12%)	13 (17%)
活力を創る	24	20 (84%)	2 (8%)	2 (8%)	3 (13%)
アジアとつながる	3	2 (67%)	0 (0%)	1 (33%)	0 (0%)
安心を実現する	27	24 (89%)	1 (4%)	2 (7%)	5 (19%)
百年の礎を築く	23	16 (70%)	3 (13%)	4 (17%)	5 (22%)

データ II

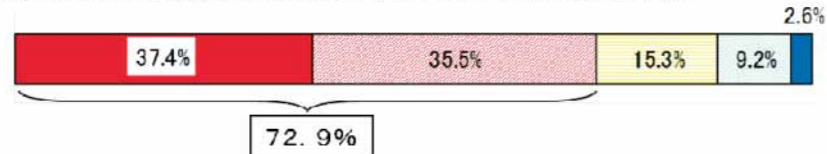
## 県民アンケート結果

～「幸せ実感くまもと4カ年戦略に関する意識調査」の結果～

平成25年5月に県内在住の満20歳以上の男女1,500人を対象に実施した県民アンケートの結果は次のとおりでした。

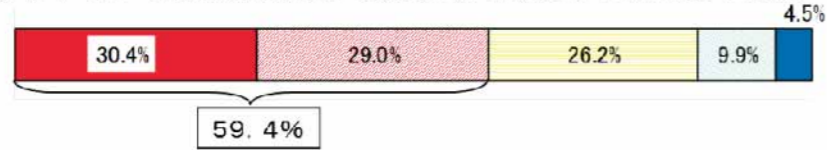
### ア “活力を創る” について

- 「活力溢れる元気なくまもと」に近づいているかどうか



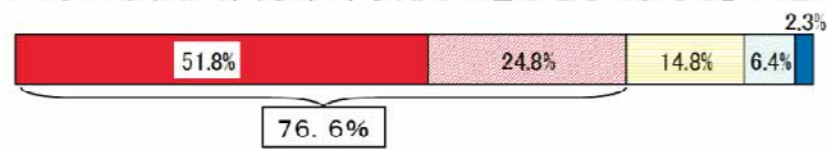
### イ “アジアとつながる” について

- 「アジアの中で存在感のあるくまもと」に近づいているかどうか



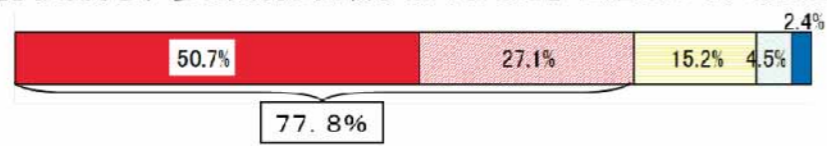
### ウ “安心を実現する” について

- 「いつまでも楽しく、元気で、安心して暮らせるくまもと」に近づいているかどうか



### エ “百年の礎を築く” について

- 「誇りを持ち、夢の実現に挑戦するくまもと」に近づいているかどうか



■ そう思う □ どちらかといえばそう思う □ どちらでもない □ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

データ III

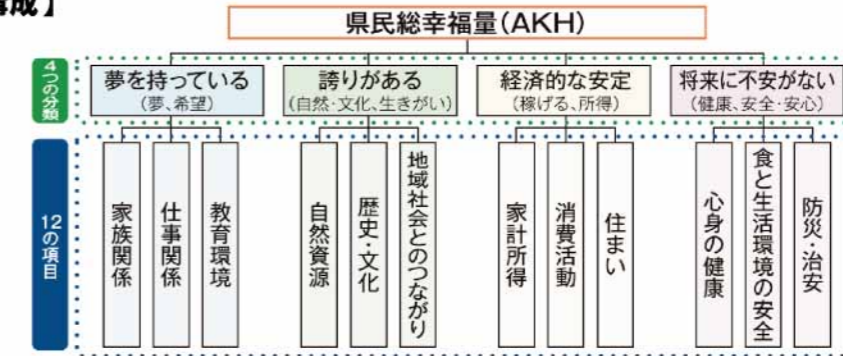
## 県民総幸福量（AKH：Aggregate Kumamoto Happiness）

～「県民の幸福に関する意識調査」に基づく県民の幸福量の算出～

○ “県民総幸福量（AKH）”とは、蒲島県政の基本理念である「県民幸福量の最大化」の考え方を県民と共有し、効果的な施策につなげるために、県民幸福量を測る総合指標として作成しているものです。

○ 幸福の要因を「夢を持っている」「誇りがある」「経済的な安定」「将来に不安がない」の4つに分類し、その要因ごとの「満足度」やどの程度それを重視するかという「ウエイト」を県民アンケートにより測定し、それぞれ掛け合わせて合計する仕組みです。

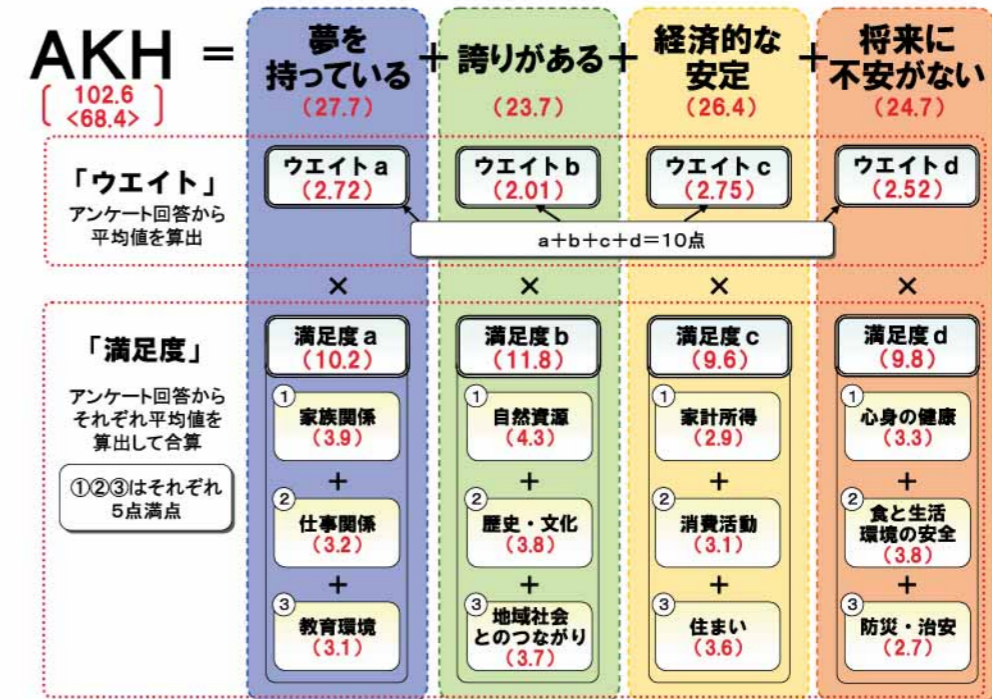
### 【AKHの構成】



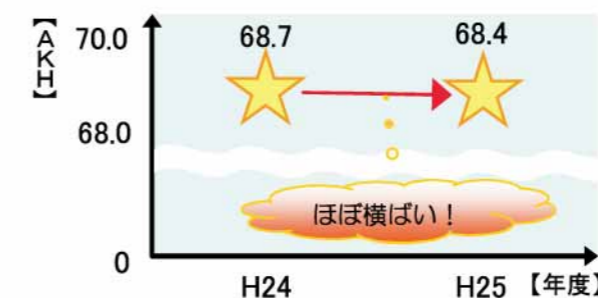
### 【AKHの計算式と算出結果（H25）】

平成25年5月に県内在住の満20歳以上の男女3,500人を対象に実施した県民アンケート「県民の幸福に関する意識調査」に基づいてAKHを算出した結果は**102.6\***でした。

※計算上、最高が150となるため、100を最高に換算すると**68.4**。



### 【AKHの変動：H24⇒H25】



AKHを毎年度算出し、その増減を測ることで、「県民幸福量の最大化」に向かって進んでいるかどうかを確認することができます。



発行者：熊本県(企画振興部企画課)

TEL:096-333-2018・2019 FAX:096-382-4066

〒862-8570(県庁専用郵便番号) 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

E-mail:kikaku@pref.kumamoto.lg.jp 熊本県ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/>

発行者：熊本県  
所 属：企画課  
発行年度：平成25年度

再生紙を使用しています。